

令和5年度 調布市立第四中学校 学校経営計画（学校長 佐藤 政彦）		
学校の教育目標		
心ゆたかに 体たくましく 賢い生徒 の育成		
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像		
・生命をいつくしみ, 人の尊厳を重んじる心を育てる学校 ・「生きる力」を育て, 個を伸ばす学校 ・安全で安心な学校		
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	現状	前年度, 5 つの中期的な経営目標に関する評価については, 生徒・保護者・教員を対象に質問項目を合わせたアンケートを実施した。さらに, 教員対象に行った別の評価を合わせて分析したところ, ①から⑤のすべてにおいて肯定的な回答が84%以上だったので, おおむね目標が達成できた。
	課題	コロナ後の新しい価値観や在り方について保護者・地域・小学校と共有し, 更なる連携を深めること。
中期的な経営目標		
① 豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努める。		
② 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるために, 主体的・対話的で深い学びを実現させる。		
③ 食育の推進に関する指導・安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導を充実させる。		
④ 社会に開かれた教育課程の実現を目指し, 保護者・地域と連携して, 教育活動の充実を図る。		
⑤ 社会の一員として活躍する生徒の育成を目指し, 「ボランティアマインド」「障がい者理解」「豊かな国際感覚」を育成する。		
356人・11組		

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
① 豊かな心(徳)	② 確かな学力(知)	③ 健やかな体(体)
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
①ふれあい月間(3 回), いのちと心の教育月間(1 回), 道徳授業地区公開講座(1 回)では, 全校体制で取組を工夫し, 他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。	①校内研修を年間3回以上, 研究授業を年間3回以上行い, 「主体的な学習を促す学習活動の工夫」を推進する。	①給食委員会・放送委員会を中心に, 生徒の食育における主体的な取組を推進する。また, 毎月の安全指導, 避難訓練により安全な学校環境を構築する。
②移動教室(1 学年3日間), 職場体験(2 学年5日間), 修学旅行(3 学年3 日間)の体験活動を通して見聞を広め, 自然や文化に親しませる。	②ICT推進教師を中心に活用を推進する。全教員がICTを活用した授業を実施し, 情報活用能力の育成を図る。	②特別支援コーディネーターを中心とした校内委員会(週1 回)で, 多様な教育相談の対応を構築し, 心の健康を保持する。
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
①学校評価で「道徳教育」についての肯定的な回答 90%以上を目指す。	①学校評価で「主体的な学び」についての肯定的な回答 80%以上を目指す。	①学校評価で「食育・安全」についての肯定的な回答 90%以上を目指す。
②学校評価で「体験活動」についての肯定的な回答 85%以上を目指す。	②学校評価で「タブレットの活用」についての肯定的な回答 80%以上を目指す。	②学校評価で「教育相談」についての肯定的な回答 85%以上を目指す。
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
④ 保護者・地域・小学校との連携	⑤ 社会の一員として活躍する力	
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	
①学校だより(月1 回以上発行), HP(月5回以上更新)等の活用・総合的な学習の時間「ボランティアマインド(地域清掃)」やあいさつ運動等で保護者・地域・小学校との連携を図る。	①「ボランティアマインド」では, 地域清掃, あいさつ運動, 募金活動, 校庭落ち葉掃きを, 「障がい者理解」では, あすチャレ school, 福祉体験を, 「豊かな国際感覚」では, 大使館との連携, 海外の学校とのオンライン交流, 東京グローバルゲイトウェイ(2 学年半日)での体験的な活動を実施する。	
②小中連携教育の日を年2回設け, 小中の交流及び連携を図る。	②キャリアパスポートにより, 自己の学びの状況を見直し, 更には将来を見通す力を養う。	
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	
学校評価で「学校教育の発信」についての肯定的な回答 80%以上を目指す。	学校評価で「キャリア教育」についての肯定的な回答 85%以上を目指す。	

人材育成・組織運営
【人材育成】 ○主幹・主任教諭を核とした組織的な人材育成 主幹・主任教諭に, 学習指導案や研修報告等を点検するなどの責務を与え, 若手教員を組織的に育成する。 ○学年・分掌主任の意識の向上 運営委員会や主任会で, 学校課題の共有と解決策の検討を行わせ, 主任としての意識を醸成する。また, 各担当からの起案は, 必ず主任を通すことで, 担当任せにすることなく責任を持たせる。 【組織運営】 ○地域と連携した学校運営 地域の会合や行事に積極的に参加し, 学校だより等により生徒や学校の様子を外部へ発信し, 地域に開かれた学校運営を推進する。